

「源氏物語絵巻」

号数	巻名	内容	発売日 (火)	校了日
1	桐壺	桐壺帝、桐壺更衣を寵愛。光る君の誕生と更衣の死去。臣籍降下し、「光源氏」へ。	11/22	10/27
2	帚木	「雨夜の品定め」。空蟬との出会い。	12/6	11/10
3	空蟬	空蟬を追う光源氏、拒む空蟬。葵の上との不仲。	12/13	11/17
4	夕顔	乳母への見舞い。夕顔との出会い。夕顔の死去。	12/20	11/24
5	若紫	紫の姫君との出会い。	12/27	12/1
6	末摘花	中将君と末摘花を争う。	2012年1/10	12/8
7	紅葉賀	青海波を舞う光源氏(試楽)。朱雀院行幸。藤壺の出産。源典侍との戯れ	1/17	12/15
8	花宴	朧月夜との出会い	1/24	12/21
9	葵	桐壺帝譲位。車争い。紫の上との新枕。葵の上の死	1/31	12/26
10	賢木	六条御息所の伊勢下向。朧月夜との密会。藤壺の出家。密会が右大臣側に露呈	2/7	1/12
11	花散里	世を厭う光源氏。麗景殿女御と妹・花散里を訪問	2/14	1/19
12	須磨	光源氏須磨へ退去し、都を思う。明石の入道との出会い。暴風に襲われる	2/21	1/26
13	明石	暴風が続く。明石の君と結婚。光源氏の帰京	2/28	2/2
14	滯標	冷泉帝の即位。明石の姫君誕生。六条御息所の死、娘を後見する	3/6	2/9
15	蓬生	光源氏、忘れていた末摘花を訪ね、これからも手厚く庇護していくことを思う	3/13	2/16
16	関屋	光源氏、逢坂の関で空蟬と再会。空蟬の出家	3/19	2/22
17	絵合	梅壺女御(六条御息所の娘)と弘徽殿の女御の後宮争い(冷泉帝)	3/27	2/29
18	松風	二条東院落成。明石の君が光源氏の要望で上京(大堰川のほとりに住む)する	4/3	3/7
19	薄雲	明石の姫君を二条東院に迎える。藤壺の死。冷泉帝、出生の秘密を知る	4/10	3/14
20	朝顔	光源氏、朝顔の姫君へ求愛する。紫の上二人の噂に苦しむ	4/17	3/22
21	少女	夕霧の元服。光源氏太政大臣へ。内大臣夕霧と雲居の雁の仲を裂く。六条院造営	4/24	3/29
22	玉鬘	玉鬘は美しく成人し、夕顔の次女右近と再会。光源氏玉鬘を六条院へ迎える	5/8	4/10
23	初音	新年、光源氏六条院の女たちを訪ねる。管弦の遊びが催される	5/15	4/17
24	胡蝶	六条院春の御殿で船樂が催される。光源氏、玉鬘と添い臥す。玉鬘苦悩する	5/22	4/23
25	蛸	蛸の宮、玉鬘を訪れる。光源氏がいたずらに蛸を放つ	5/29	5/1
26	常夏	光源氏、玉鬘の処遇に苦悩。内大臣の娘、近江の君の奇矯な振舞いに皆閉口する	6/5	5/10
27	篝火	光源氏、玉鬘を訪れ執心を訴える。柏木、玉鬘に想いを寄せる	6/12	5/17
28	野分	夕霧、紫の上をかいま見て想い乱れる。玉鬘と光源氏の仲を不審に思う	6/19	5/24
29	行幸	大原野行幸で玉鬘が実父内大臣を初めて見る。光源氏、内大臣に玉鬘の事を打ち明ける。玉鬘の裳着が行われる。尚侍として参内することが決まる	6/26	5/31
30	藤袴	夕霧、玉鬘に藤袴を手渡し恋情を打ち明ける。髭黒大將が玉鬘に強く求婚する	7/3	6/7
31	真木柱	髭黒大將が玉鬘を手に入れる。髭黒大將の北の方が起こって娘(真木柱)を連れて里邸に帰る。承香殿に参内するが、髭黒に自邸に連れ戻され男児を出産する。	7/10	6/14
32	梅枝	明石の姫君の入内の準備が進む。内大臣、夕霧と雲居の雁の今後を思い悩む	7/17	6/20
33	藤裏葉	夕霧と雲居の雁が結婚。紫の上と明石の君の対面。光源氏、准太上天皇となる。	7/24	6/27
34	若菜上	朱雀院、女三の宮を光源氏に頼む。光源氏、女三の宮と結婚。 紫の上、三の宮の降嫁に思い悩む。明石の女御懐妊。柏木、三の宮への思いで悩む。	7/31 8/7	7/4 7/10
35	若菜下	紫の上、出家を望むが、光源氏に拒まれる。女樂。 柏木、三の宮へ思いを告げ、契る。光源氏、三の宮の密通を知る。光源氏、柏木に皮肉を言う。	8/21 8/28	7/26 8/2
36	柏木	女三の宮、柏木との子(薫)を出産する。女三の宮の出家。柏木、夕霧に秘事をそれとなく言い遣し死去。夕霧未亡人の落葉の宮を後見し、心惹かれる	9/4	8/9
37	横笛	夕霧、遺愛の横笛を譲られる。柏木が夢に現れ笛を伝えたい人の存在を伝える	9/11	8/16
38	鈴虫	女三の宮の持仏眼供養。光源氏女三の宮を訪ね鈴虫の音を聞く。管絃の遊び	9/18	8/23
39	夕霧	夕霧、落葉宮へ懸想する。落葉の宮の母死去。 夕霧、宮を一条の宮に移す。雲居の雁、激怒して里帰りする	9/25 10/2	8/29 9/5
40	御法	病気がちの紫の上が死去	10/9	9/11
41	幻(雲隠)	紫の上を忍ぶ光源氏、出家の意志を固め、俗世最後の新年を迎える準備に勤しむ	10/16	9/19
42	匂兵部卿	光源氏の面影を忍ばせる薫と匂宮。薫は女三の宮のもとで、匂宮は二条院に住む。	10/23	9/26
43	紅梅	柏木の弟、按察使大納言は娘中の君を匂宮と結婚させたいと思うが、匂宮は按察使大納言の後妻、真木柱の娘、宮の御方を想う	10/30	10/2
44	竹河	髭黒死去後の玉鬘の不遇(髭黒大臣家の老女房の間わず語りの形式)	11/6	10/11
45	橘姫	光源氏の異母弟、八の宮。出生の秘密を知る薫。宇治で八の宮の娘大君に想いを寄せる。	11/13	10/18
46	権本	匂宮、宇治の別荘にて休息し、管絃の遊びを催すなど、二人は度々、宇治を訪れる。 八の宮、薫に娘大君と中の君の後見を託して他界。匂宮、中の君に惹かれる	11/20 11/27	10/25 11/1
47	総角	薫、大君に求婚するが拒否し、妹中の宮と結婚することを望む。 薫は匂宮と中の君を結婚させる。大君は落胆し、死去	12/4 12/11	11/7 11/14
48	早蕨	中の君、失意のなか二条院に迎えられる。匂宮、薫と中の君の仲を不安に思う	12/18	11/21
49	宿木	薫、大君追慕する。匂宮、夕霧の六の君と結婚する。失意の中の君に心を寄せる薫。 薫、中の君から異母妹の浮舟の存在を知る。中の君の出生。	12/25 2013年1/8	11/28 12/6
50	東屋	浮舟の母、中の君に浮舟の世話を託す。匂宮それを見つけて浮舟に迫る。薫、浮舟を宇治に隠れ住ませる	1/15	12/13
51	浮舟	匂宮、宇治を訪れ、浮舟の寝所に忍び込む。浮舟、薫と匂宮のはざままで苦しみ、入水を決意する	1/22	12/18
52	蜻蛉	浮舟の失踪。浮舟の葬儀が催される。薫、女一の宮をかいま見る	1/29	12/26
53	手習	横川の僧都、浮舟を助ける。浮舟、僧都に懇願し出家する。 薫、亡くなったと思われた浮舟の存在を僧都から伝え聞き、横川へ向かう	2/5	1/9
54	夢浮橋	薫、全てを許す旨の手紙を浮舟に送るが、面会を断られる。疑いを抱く薫	2/12	1/17